令和元年九月十五日　信者心の道勉強会

神　　示

運命実体で回る　この世の仕組みを知った今(今日)
　人間としてなすべきことは何か
「教え」を学び　祈願を重ねて
　「真実の愛」に生きる人(人間)を目指す
この思い(信念)が深まるほど　人間は
　人　物との出会いを求め　深めることに　思いが向かう
人間は　愛を求めて生きるもの(存在)
なれど　愛の姿(真実)が分からず　生きている
信者に申す
　家族で「教え」を学び
　「真理」に生きる家庭を　神に願い求めてごらん
自然と家族の心は重なり　愛の姿が形となってゆく
親は子に　無償の愛で触れ合う
　「教え」に生きるなら　自然と芽生える心(愛)
見返りを求めない心の触れ合いに
　人(人間)の心は安心　自信を感じ　深める
「教え」に生きて　「道」に沿う人生を歩むなら
　人間は誰もが　家族　縁者の愛を得て
　　多くの人(人々)の心を　愛に染める人(存在)と成る
「得徳(えとく)の真理」に気付き　悟りを深め
　人間はそれぞれに
　　神の手の中　「人生」を完成させてゆく